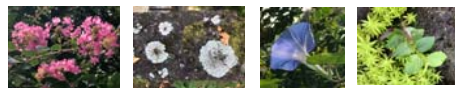


晴耕雨読

46

発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
 建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業・地質業登録
 〒869-1234
 熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
 本社:熊本市/八代支店/合志営業所
 TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
 E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp



「実践修行」(じっせんきゅうこう)は、言うだけでなく、自らやってみるという意味です。人の世も、「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かす」の言葉(山本五十六)も大事ですね。

Vol 46 Aug 2017 seikoudoku

世界陸上や高校野球など、熱い毎日が続いていますが、如何お過ごしでしょうか?



私は誰でしょう?

夏になると、そこらじゅうから蝉の声が聞こえてきます。夏真っ盛りを知らせるかのよう鳴き始めるクマゼミやアブラゼミ、それから「ツクツクボーシ」と秋を知らせるツツボウシ。夏に欠かせない風物詩ですね。上のスケッチのセミを正面から見ると宇宙人ですが・・・足の筋肉はボルト並みです(笑)H/N

双子橋の弟(第二侯橋)の今「復旧工事監理 美里町」



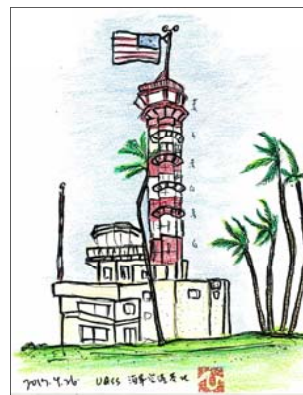
1年生が描いた石橋

タンザニアから熊本に勉強に来ているマックと通潤橋・二侯橋を見に行きました。左のスケッチは同行した7才の子が描いた石橋(笑)。石橋に見えるな???

実

秋の準備もちやくちやくと進んでいますね

ハワイの海軍基地の話



ハワイ: 太平洋航空博物館

左のスケッチはフォード島の海軍基地内にある太平洋航空博物館。今は修復されてキレイになっていますが当時のまま残っています。入る際には手荷物規制や撮影箇所の決まりなど注意点が色々ありますが、日系の方などガイドの方が詳しく説明をして頂けるので、機会があれば一度は訪れて欲しい場所だと思います。零戦が格納庫を低空飛行で攻撃した弾痕がガラスに残っています。H/N



阿蘇の草原



青い林檎の木

久しぶりの阿蘇の草原。小さいころから頻りに訪れていた場所ですが、地震により一時訪れる事が困難になって、改めてその素晴らしさに気づきました。夏休みという事もあり、海外からの旅行者も多く見られました。早い復興を願う。T/B

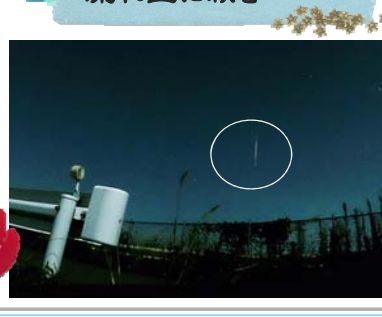
私たちの夏休み2017



夏を象徴する花「向日葵」

南阿蘇の一心行の桜近くに、向日葵畑があると聞き、行ってきました!!あたり一面【ひまわり】だらけ。この向日葵なんと、近くのミニトマトの花の受粉を促す為に、ミツバチを呼びたかったそうなんです。この日も沢山の人がカメラ片手に訪れていました。T/B

流れ星に願を〜



流れ星を見つけたら、3回願い事。と言いますが、なかなか言えません(笑)でも流れ星を見たら「ラッキー」と思っちゃいますよね…。ペルセウス座流星群は8月12~13日を中心に出現率が高くなるそうです。特に適した方角などはないそうなので、たまには夏の夜空を見上げて見るのもイデですよ★★★1/0

躬

海の変化が気にかかる

「御船町にねぶた??」



8月13日御船町【があ〜ば祭り】でねぶた恐竜を発見!!展示物かと思いきや、扉が開いて自由に乗る事が可能。子どもには大人気で長い列が出来ていました。T/B

「下から見るか?横から見るか?」



私が今年選んだ打ち上げ花火は真下からの花火!!ど迫力(@^)/~~



気をつかった木のはなし...

東陽交流センターせせらぎで面白いもの見つけた!木の芯をくり貫いたヒノキ丸太「ゴロタンストープ」マッチ1本でストープ&コンロに早変わり。バーベキューもできます。N/S



農園の里いもと かつむり



今年の夏は個人的に非常に暑く感じ、夏バテ気味です。今回は遅めの夏休みで感じた気候の変化について少し書かせて頂きます。先日釣り人の間では有名な鹿児島県甕島へ行って来ました。釣り船の船長に話を聞くと今年はとにかく海水温が高すぎて8月時点で30℃を超えているそうです。海の生物も水温が28℃を超えると急激に活性が落ちるそうです。また、一昔前にはあまり見かけなかった熱帯地域の生物も最近をよく見かけそうです。今後も地球温暖化に伴う環境の変化について注視していきたいと思えます。上の写真はイカの釣果です。サシミよし、ズケでも良しの上手い海の幸です。K/N

身近な環境への思い

夏といえば・・・クワガタ捕り

子供の頃は夏休みを利用して裏山にある雑木林等でカブトムシやクワガタムシ等をよく採集してました。しかし、近頃は市街地開発や環境変化等により、虫達が好む山林が減少し、虫捕りが困難な状況化にあります。夏休みの思い出に子供達とカブトムシ等を捕まえるため、情報収集や事前調査を入念に行い、クヌギやコナラ等で樹液がよく出ている場所を特定し、早朝に出発!!何とか4匹のカブトやクワガタを捕まえ、約束を果たすことができました。苦勞したのは、樹液特定でカミキリムシやボクトウガの幼虫により樹液は出ますがその樹木が非常に少なく時間を要したため、今度は仕掛け等の工夫を考えてます。多様な生物と共存していくため、自然を大事にしていくことを子供達の世代へも伝えていきたいです。M/T

江津湖の今(熊本市)



市街地の中心に在る江津湖は「安・近・短」を代表する湧水の自然環境です。広域で駐車場が分散しており、導入路が判り難いことが課題ですが、親水エリアが拡張され利用空間が広がっています(左写真)。希少種の藻が発見され、今後利用区域制限の可能性もありますが、時にはカワセミなども見られるお薦めスポットです。A/T

我が家の萩の木 M/T



我が家の萩が今年も小さい花を付けました。庭に植えると庭木ですが、この木は家より古いので、仮に古い方を先にすると、木庭あるいは萩庭。ご存じの方は教えてください。一時期青蛙が2匹住み着いていたのですが、最近は見かけません。実は、BLUE GENERAL(青大将)も時々見るので心配しています。理想としては鶉(ウズラ)に遊びに来て欲しいと思っています。

Human Architectur

「夏・崎津みなと祭り」(天草市)

世界遺産登録を目指す天草市崎津地区では、崎津天主堂を中心とした崎津集落の整備が行われ、賑わってきています。みなと祭りでは、漁船が静かに佇む夜景にライトアップされたゴシック様式の崎津天主堂が浮かび上がる幻想的な雰囲気の中で、大小さまざまな菊模様の花火やナイヤガラ滝など趣向を凝らした演出がなされて、懐かしいイカの姿焼き等十数軒の出店が並ぶ見物会場の港には、浴衣姿の女性や家族連れ等も多く、大変賑わっていました。夜空に咲く大輪の花火を真下から真近に見上げる音と迫力、たまに火の粉が地上まで落ちてくるスリルもあって楽しいひと時と、地元の祭りにかける熱意を感じました。B/I



初投稿は米の話です。



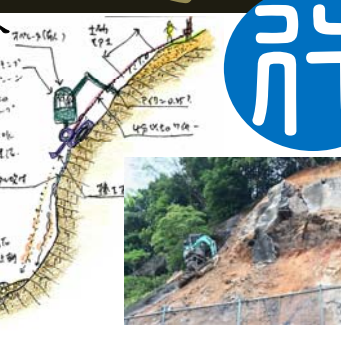
晴耕雨読に初投稿の新人です。8月も中盤に差し掛かり、暑い日が続いていますが、近所の田んぼでは稲が暑さに負けず、元気に育っておりです。夜、散歩に出かけてみると田んぼからは涼しい風が吹き、虫やカエルの鳴き声が聴こえ、とても涼しい気持ちになれます。新米が食べれる時期まであと少し... K/I

実践

身近な土木文化への思い

ユニークな法面工事機械の紹介

昨年、熊本で甚大な被害があった御船町の法面工事中の現場(右スケッチ)が気になって立ち寄った。法面上部の木にロープで固定したロッククライミングマシン(有人)で崩れかけた不安定な地山の切土作業中。人力作業に比べて安全性が高く、作業効率も良い、無人化施工も可能との事で、危険性が高い現場での活躍に期待したいですね。H/N



ロッククライミングマシン

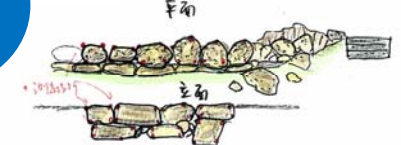
今の防護柵基礎技術



山あいや河川沿いの道路で、写真のようなガードレール基礎を目にしたことはありませんか。これはプレキャストガードレール基礎と呼ばれる製品で、路肩(盛土や擁壁天端)に設置され、車両の衝突による衝撃力を擁壁に分散して伝達させることで、擁壁の破損を防ぐ役割があります。この製品は、プレキャストのため工期短縮が図れる点や、連結構造により軽量化(小型機械で施工可能)、カーブ施工及び縦断施工が可能などの利点があり、施工性・安全性に優れている。昨年末に復旧した県道28号(俵山トンネルルート)等で施工されています。K/S

Civil Engineering

400年前の石垣づくりを見る



文化財の災害復旧では、文化財保護法94条申請に従い段階的確認が行われます。平面・立面図作成に石垣の1つづつを4箇所座標で特定していき、それを同じ場所に原則復旧します。上の真とスケッチはその時の状況です。創建時の思いに馳せる良い会です。H/N

熊本の鋼橋(No.10) N/S

地震から約1年半経ち、損傷が大きかった俵山大橋の復旧工事が始まりました。専門家の見解は、俵山大橋は、橋桁全体が橋軸方向の圧縮を受けた可能性があり特異な損傷を受けているそうです。その特徴は、橋台パラペット部と桁端部の衝突や伸縮継手部の圧縮変形、桁下部部材の座屈変形、積層ゴム支承の脱落・変形などです。現場代理人に聞き取りをしたところでは、復旧の段取りは、まず仮橋を掛け、その後、橋の解体のためのケーブルクレーンを設置し、上部工の解体を行う。その後、大きな損傷を受けているA1・A2橋台の解体・復旧、P1・P2橋脚の補強をして、上部工の新設となるようす。下写真は西原村の【俵山大橋:3径間連続鋼桁橋・140m】復旧状況写真です。



■後記:平成28年4月の熊本地震では県内に大きな傷跡を残しました。復興の過程をスケッチや写真で伝える機会にもなりました。水源が枯れた南阿蘇村の塩井社水源など暮らしや風景が変わった地域もあり、その現実を伝えるべきことが沢山あります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は職員との協力で発信しています。